



京都市における帰宅困難者の特徴

帰宅困難者になりやすい観光客、通勤・通学者の特徴を見てみましょう。

観光客

平成20年に京都市を訪れた観光客は5,021万人です。これは、1日あたりに平均すると約14万人の観光客が京都市を訪れていることとなります。

最も観光客が多い観光シーズンの11月の1日平均は、約23万人です。

また、これらの観光客に占める宿泊外国人客数は年間93万7千人、修学旅行生は年間101万人となっています。

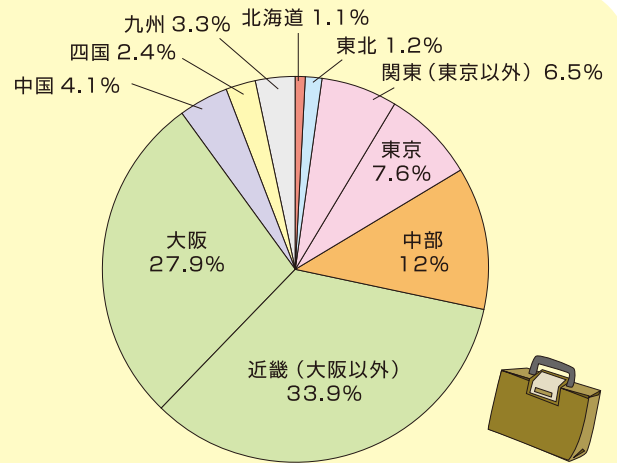
訪問先ベスト5

(平成20年)

- 1位 清水寺
- 2位 嵐山
- 3位 金閣寺
- 4位 銀閣寺
- 5位 南禅寺



観光客出発地別割合

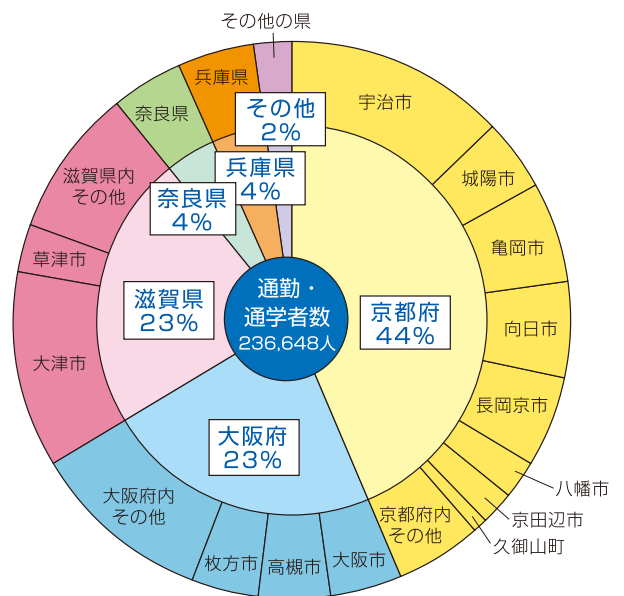


通勤・通学者

昼間人口は約158万人です。一日の流入人口は約24万人で、そのうち通勤者が約18万人、通学者が約6万人を占めています。

地域	人数	割合
京都府	103,808	44%
大阪府	53,679	23%
滋賀県	53,539	23%
奈良県	10,403	4%
兵庫県	10,383	4%
その他の県	4,836	2%

合計 236,648人



出典：平成20年京都市観光調査年報
平成17年国勢調査報告